

家庭学習習慣化プロジェクト

1 ねらい

- ・ 家庭学習を通して「自ら学ぶ力」をつける。
- ・ 家庭学習の成果を実感させる場をつくる。
- ・ 家庭学習により基礎学力の力をつける。

2 取り組みの方法

① 内容 「家庭学習強化週間」 ※ 小学校「家庭学習がんばり週間」

- ・ 家庭学習の見直しを図り、さらなる学習意欲の喚起を図る。

② 期間

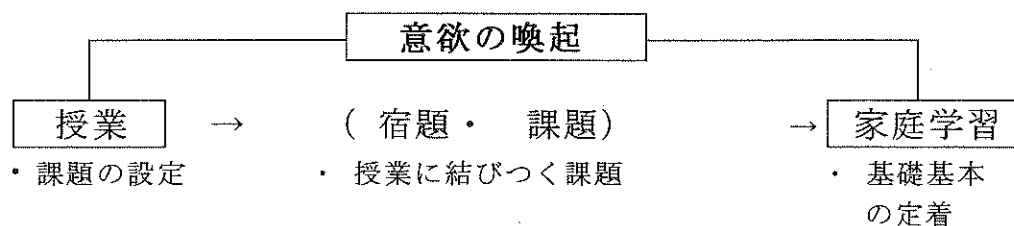
平成24年 10月1日(月) ～ 10月18日(木)
(中間試験前日)

③ 方法

- ・ 期間中の児童生徒が家庭学習時間を毎日記録する。
- ・ 係がまとめ取り組み表にシールをはる。
- ・ 学級で取り組み表(掲示物)を作成する(目に見えるかたちにする。)シール
- ・ 取り組みの優秀な児童生徒と学級に表彰を行う。
- ・ 事前に、学級委員会や担任が取り組みについて児童・生徒に知らせておく。(集会、帰りの会など)
- ・ 保護者にも事前に、通信やだよりで伝えておく。

④ 期間中の家庭学習の定義 (家庭学習とは)

- ・ 家庭学習は主に家庭で自分一人で行った学習をさす。(塾での学習は除く)
- ・ 家庭学習 = 宿題 + 自主学习 自主学习とは自分で計画し実行した学習



主な家庭学習の内容	
・ ドリル学習	(漢字・計算・英単語 等)
・ 授業の予習・復習	(ノート学習・ワーク・プリント等)
・ 表現力を高める学習	(作文・日記等)
・ 音読	計算練習 漢字練習
・ 宿題、	自主課題学習

※家庭学習の内容については、学年で決めてください。

家庭学習強化週間

平成24年 10月1日(月) ~ 10月18日(木)

☆学校の学習だけでは、習ったことをしっかり身につけることはできません。学力をつけるには、家庭での学習がとても大切です。また、家庭学習は毎日取り組むことが大切です。現在しっかり取り組んでいる人もいますが、この期間にもう一度自分の家庭学習について見直し、がんばってみましょう。

1 家庭学習の目的 ◎ 家庭学習の習慣化

- 学校で学習したことを、しっかり身につける。
- 自分で学習することにより、「自ら学ぶ力」をつける。

2 家庭学習のやり方

- | | |
|--|---------------|
| ① 宿題を必ずする。 (宿題) | ←家庭学習 |
| ② 自分で決めた学習をやる。 (自主学習) | |
| ③ 学習時間を記録する。 (記録用紙) | ←学校で
記録・集計 |
| ④ 記録用紙を毎日提出する。 (班の学習係へ) | |
| ⑤ 担任の先生に記録用紙のチェックを受ける。
(班の学習係が担任の先生へ提出) | |
| ⑥ 学習係が「家庭学習取り組み表」にシールをはる。 (掲示) | |

3 家庭学習のポイント

- ☆ 連絡帳や生活ノートを見て、宿題を確かめ、しっかりやる。
- ☆ 授業の復習をその日のうちにやる。余裕があれば予習をする。
- ☆ 決まった時間に毎日こつこつやる。
- ☆ 少しずつ時間を増やしていく。
- ☆ 自分に合った学習方法を身につけていく
- ☆ 計画と目標を立て、それに従って学習する。

4 家庭学習のための環境づくり

- ・机の上や身の回りをきれいにして学習する。
- ・規則正しい生活に心がける。(早寝、早起き、しっかり朝食、元気なあいさつ)
- ・テレビやおやつなど「ながら勉強」をしない。
- ・家の中で落ち着いた場所、いつも同じ場所、大人の目の届く場所とする。
- ・わからない時は教科書などでしらべたり、家の人にきいたりする。
- ・家庭の人に、協力してもらう。

5 家庭学習のめやす

学 年	時 間	内 容
小1年生～2年生	30分	音読 漢字練習、 計算練習 日記
小3年生～4年生	45分	
小5年生～6年生	60分	音読 漢字練習 計算練習 日記 自主学習
中1年生～2年生	1時間～2時間	復習中心 自主学習の習慣化 定期テスト学習の計画・実践
中3年生	3時間	進路に向けて 3年間の総復習

6 家庭学習個人記録表

(なまえ)

内容 月 日	時間	主な 学習内容	合計 学習時間	主な 学習内容	合計 学習時間	主 学習
月 日()		(例)音読 ドリル社会	分			
月 日()						
月 日()						

7 家庭学習取組集計表

(班)

名前	月 日	月 日()	月 日()	月 日()	月
Aさん	時間	()分	時間	()分	時間
Bさん	時間	()分	時間	()分	時間
Cさん	時間	()分	時間	()分	時間
Dさん	時間	()分	時間	()分	時間
Eさん	時間	()分	時間	()分	時間